

二〇二三年一月二日

冬晴のハルカス浪速の摩天楼

たか子

と見る間に霧中に失せし寒霞溪

素 秀

池塘行く綺羅の簪七五三

うつき

古井戸の蓋に嵩なす柿落葉

かえる

散紅葉両手に掬ふ手水鉢

康 子

振袖の大股歩き七五三

あひる

色変へぬ松の傾く池鏡

ぽんこ

手をつなぎ飛石渡る冬ぬくし

もとこ

六文銭置かれし戦さ跡寒し

もとこ

四肢のぼし亀遊泳す池小春

あひる

大公孫樹北の大地に黄落す

む べ

定例WEB句会みの選

二〇二三年一月二日

天高し連理をなせる御神木

康 子

刀鍛冶の白足袋煤く輔祭

なつき

秋日影広げて鳩の水輪かな

澄 子

深秋の池塘に煙草吸ふ女

うつき

案山子展子らの力作みな笑顔

康 子

友の手を杖に飛石池小春

よう子

石白を飛石と敷く庭小春

せいじ

白樺の林にあそぶ黄葉影

む べ

ロープウェイ海へなだるる紅葉山

素 秀